

インフルエンザ流行情報について（第5報）

●インフルエンザ流行情報

本県における平成29年第52週(平成29年12月25日～平成29年12月31日)のインフルエンザの定点当たりの患者報告数が17.33となり、国の定める注意報の基準値(10.00)を超えたため、1月5日に県内全域に「インフルエンザ注意報」が発令されました。今シーズンは、昨シーズンより約1週遅い注意報発令となります。[昨シーズン注意報発令：平成28年第51週(平成28年12月19日～25日)]

また、古河保健所と竜ヶ崎保健所管内において平成29年第52週のインフルエンザの定点当たりの患者報告数が、古河が40.88、竜ヶ崎が35.79となり、国の定める警報の基準値(30.00)を超えたため、1月5日に地域警報が発令されました。県民の皆様には、より一層「手洗いの励行」、「咳エチケットの実践」等の感染予防対策をお願いいたします。

なお、茨城県衛生研究所において、平成29年9月4日から平成29年12月31日までの期間にインフルエンザウイルスを検出した64検体の種類の内訳は、AH3(A香港型)が7検体(10.94%)、AH1pdm09が38検体(59.38%)、B型が19検体(26.69%)となっています。

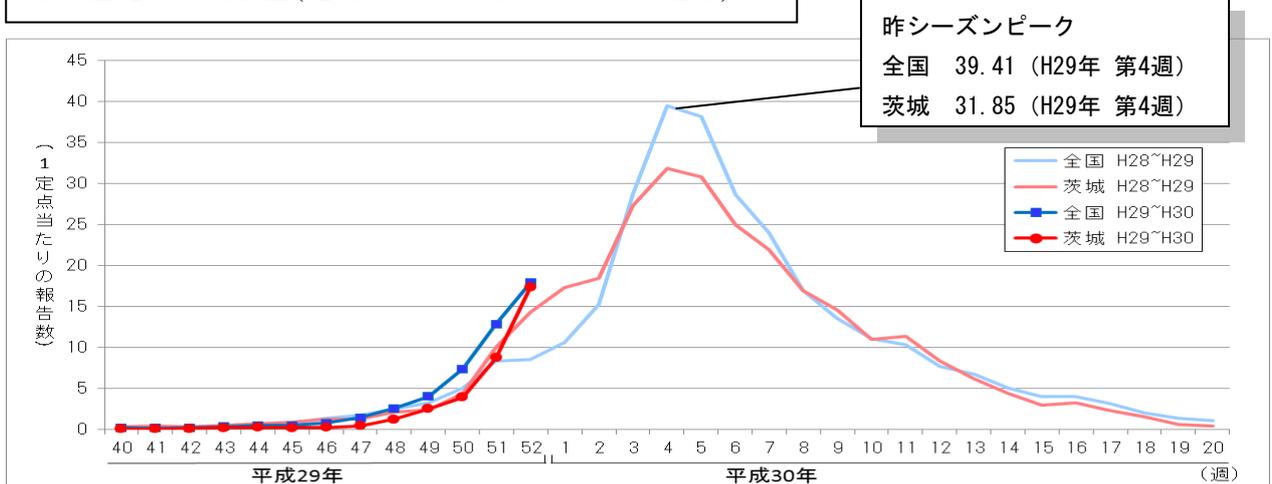
[昨シーズン全体で AH3(A香港型):75.6%、AH1pdm09:8.1%、B型:16.3%]

また、インフルエンザ流行情報および学級閉鎖等措置・集団発生等の状況については、感染症情報センターのホームページに掲載し、毎週木曜日に更新しています。

【茨城県感染症情報センターホームページURL】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>

感染症発生動向調査(定点当たりの患者報告数の推移)※



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

- ① 定点当たりの患者報告数が**基準値(注意報：10 警報：30)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。また、県全体において定点当たりの患者報告数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。
- ② **注意報**：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があること、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。
警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。
なお、警報の解除は終息基準値(10)を下回ったときになります。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

52週の値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

保健所	定点数	調査期間： H29. 12. 25～H29. 12. 31 (第52週)		調査期間： H29. 12. 18～H29. 12. 24 (第51週)	
		患者数	定点当たりの患者報告数※	患者数	定点当たりの患者報告数※
水戸	17	51	3.00	47	2.76
ひたちなか	8	54	6.75	29	3.63
常陸大宮	8	71	8.88	35	4.38
日立	11	78	7.09	61	5.55
鉾田	5	48	9.60	27	5.40
潮来	8	176	22.00	61	7.63
竜ヶ崎	14	501	35.79	186	13.29
土浦	13	202	15.54	129	9.92
つくば	10	266	26.60	174	17.40
筑西	10	176	17.60	110	11.00
常総	8	129	16.13	76	9.50
古河	8	327	40.88	115	14.38
県全体	120	2,079	17.33	1,050	8.75

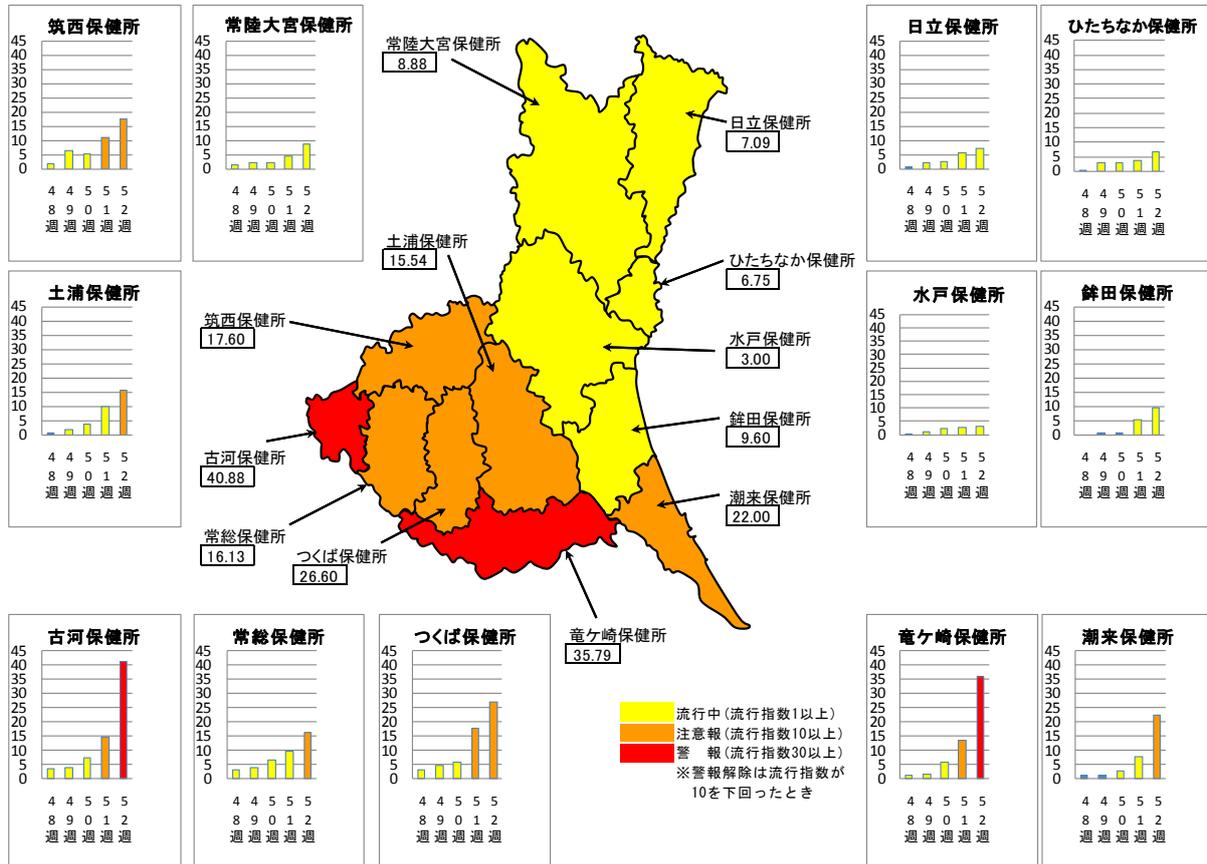
※ インフルエンザの定点当たりの患者報告数は1定点あたり1週間の平均患者数

インフルエンザの定点当たりの患者報告数＝ $\frac{\text{インフルエンザ定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ定点数(県内に120医療機関[平成29年12月31日時点])}}$

・ 定点当たりの患者報告数が 1.0 を超えると流行期に入ったと判断します。

《茨城県内のインフルエンザ流行マップ》

● 2017年第52週（12月25日～12月31日）および過去4週間のインフルエンザ流行状況



※値は速報値です。今後数値に若干の変更が生じる場合があります。

茨城県のインフルエンザによる入院患者の概況

期間(報告週) 2017年52週

(1)入院患者の届出数

年齢別 \ 期間		11/27~12/3 (48週)	12/4~12/10 (49週)	12/11~12/17 (50週)	12/18~12/24 (51週)	12/25~12/31 (52週)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※1		5人	1人	4人	5人	14人	0人	0人	9人	24人				33人
年齢別内訳	1歳未満				1人					1人				1人
	1~4歳	1人		1人		1人			2人	2人				4人
	5~9歳	1人	1人	1人	1人	1人			2人	4人				6人
	10~14歳					1人			1人	1人				2人
	15~19歳					1人				1人				1人
	20~29歳													
	30~39歳									1人				1人
	40~49歳	1人		1人		1人			1人	2人				3人
	50~59歳													
	60~69歳													
	70~79歳	1人		1人	2人	1人			1人	4人				5人
80歳以上	1人			1人	7人			2人	8人				10人	

※1 基幹定点医療機関(県内13か所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数。

※2 平成29年9月4日以降に入院した各患者の累計数(入院日を登録)。

※ 2017~2018シーズンは2017年36週(9/4~9/10)からスタートしています。

(1)入院患者の週別推移(全国)

年齢別 \ 期間(報告週)		2017年48週	2017年49週	2017年50週	2017年51週	2017年52週	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 ※1
入院患者数 ※3		119人	142人	277人	571人	742人	64人	109人	348人	1,851人				2,372人
年齢別内訳	1歳未満	5人	5人	11人	29人	39人	3人	6人	15人	89人				113人
	1~4歳	18人	25人	33人	95人	120人	10人	19人	56人	291人				376人
	5~9歳	22人	25人	55人	93人	106人	9人	9人	53人	301人				372人
	10~14歳	5人	2人	15人	40人	25人		3人	14人	87人				104人
	15~19歳	1人	4人	1人	10人	7人		3人	6人	23人				32人
	20~29歳		1人	6人	7人	6人		1人		20人				21人
	30~39歳	3人	7人	11人	8人	15人	3人		5人	44人				52人
	40~49歳	3人	3人	5人	14人	19人	3人	1人	7人	44人				55人
	50~59歳	6人	5人	6人	13人	24人	1人	2人	14人	54人				71人
	60~69歳	6人	11人	29人	48人	72人	6人	10人	22人	166人				204人
	70~79歳	17人	19人	30人	85人	117人	11人	21人	51人	268人				351人
80歳以上	33人	35人	75人	129人	192人	18人	34人	105人	464人				621人	

※3 基幹定点医療機関(約500カ所)からのインフルエンザによる入院患者の届出数

《備 考》

インフルエンザの予防について

～ひろげるなインフルエンザ！ひろげよう咳エチケット！～

◆ インフルエンザにかからない、うつさないための対策

☆帰宅時の手洗い

手にウイルスがついたままにしない
ことが大切です



☆咳エチケット

咳やくしゃみをする時は
鼻や口をおさえましょう
マスクをしましょう



☆予防接種

◆ インフルエンザにかかった場合の対応

- ・ 早めに医療機関を受診して治療を受けましょう。
- ・ 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- ・ 水分を十分に補給しましょう。お茶やスープなど飲みたいもので結構です。
- ・ 一般的に、インフルエンザを発症してから3～7日間はウイルスを排出すると言われてい
ますので、その間は外出を控えましょう。



茨城県感染症情報センター
(茨城県衛生研究所企画情報部)
TEL 029-241-6652